

令和7年度

三島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

主体的に学習に取り組み、自分の思いや願いを豊かに表現できる児童の育成

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告、授業公開等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字や計算のドリル学習を、真面目に取り組むことができる。 ●学習した内容が、生活の中であまり活用されていない。 ●文章の読解力が不十分である。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ・身につけた知識・技能を、学習や生活の中で活用することができる。 ・文章を正確に読み、内容を理解することができる。	・タブドリLiveを活用し、学習の意欲付けをする。 ・ドリルタイムに復習や小テストを行い、読み書き計算の力や語彙力を高める。また、聞く力を身につけるためのドリルを行う。 ・作文の中で、新出漢字や国語の教科書に関連する言葉が使えたら、賞賛する。 ・「子ども新聞」を活用し、楽しみながら読み取る力を身につけさせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の思いや考えを素直に表現できる児童が多い。理由を明らかにして発表できる児童も増えた。 ●一人での課題把握が難しく、支援を必要とする場面がある。 ●話し合う活動でのスキルが不十分である。	・学びの方法を自己選択・自己決定することができる。 ・話す活動や書く活動の時に、理由や根拠を明らかにしながら自分の考えを表現できる。 ・友達の意見を聞いて、自分の考えに生かすことができる。	・学習形態を工夫したり、ホワイトボードや付箋、タブレットを活用したりする。 ・自分の思いや考えを、理由や根拠をもとに表現できる場を増やす。 ・手引き書や発表の仕方のキーワード集を作り、全学年で共有し活用していく。 ・学習の中で、自分の考えを表現したり、お互いの意見のすり合わせたりする経験を積ませる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学校での学習や家庭学習に真面目に取り組むことができる児童が多い。 ●失敗や間違いを恐れて、主体性が発揮できない。 ●家庭での読書量が少ない。	・問題意識をもって学習に取り組むことができる。 ・自分の学びを振り返り、学んだことを次に生かすことができる。 ・家庭でも学習や読書に取り組むことができる。 ・タイピングの知識・技能を習得することができる。	・児童にとって必要性のある学びとなるよう、自分に合っためあてや解決方法を提示する。 ・学んだことを次の学習に生かせるよう、キーワードを提示して振り返らせる。 ・異年齢の交流活動で本の読み聞かせや「リレー家読」を行い、児童が読書に興味をもてるようにする。 ・朝学習の時間などに、タイピング練習をする機会を設ける。			